

1、最近の小児疾患の傾向・・・子供の心身異常の《質的》変化

《成人病》は死語になりつつある。新語〈生活習慣病〉登場の背景

- 1、早幼期・脳神経障害（鬱病、分裂、注意欠陥症、ADHD（多動）症、自閉、癲癇）の増加
- 2、子供のいわゆる〈成人病・・糖尿病、高血圧、心臓、動脈硬化〉の増加

これらの要因は先天的なものだけでなく、乳幼児期の脳・内臓発達に何らかの障害が発生したものがおおい。その背景要因には、1、妊娠・出産時の問題（合成黄体ホルモンなどのホルモン療法の副作用、かん子分娩など）2、脳形成期での環境化学物質の影響 3、TVなど感覚器を通じた異常な情報刺激 4、食生活 5、保育・教育など複合した社会的影響が指摘される。

例えば、少年殺人などのケースの約半数に脳の形態異常（小頭症、側脳室異常、癲癇、蜘蛛膜肥大など）が認められるという。

脳は妊娠のごく初期から生後二～三年にいたる間まで、漸成的に形成・発達をとげるのである。したがって、その間の、有害物質、酸素欠乏、栄養障害、外傷などの影響が脳の発達を阻害したり破壊したりする可能性がある。この脳形成のプロセスの中で、子供の心身病は素質づけられるといってもよい。

そして、最近の少年犯罪を含め子供の心身病の特徴は、子供の早期成人化つまり、脳幹器官の異常肥大・・早熟化にある。（例、キレル子供達）（脳内ホルモンのにはアドレナリン作動のA系神経系とセロトニン系作動のギャバ神経系のアンバランス）。たとえば、最近話題のADHD（注意欠落多動性障害）の事例のおおくが、**前頭葉血流不足、ギャバ神経系の機能低下（相対的にアドレナリン系の亢進）、があり疫学的に農薬などの化学物質（脳内霍乱物質）の関連が指摘されている。**従って、当然のことながら、子供の心身症は社会環境と脳・内臓生理の2点から考慮されなければ解決されない。

3、乳幼児の心身特徴（単なる大人のミニチュアではない。）（少年法の意味・・刑事罰の強化は無効）

- a、前頭葉、《血脳関門》が未発達。子供に酒・タバコを売る事が犯罪行為である理由。
- b、副腎・自律神経系が未発達。
- c、子供の病気は親との心理・身体的な関係が密接。乳離れ子離れの技能は動物以下。

母親の皮膚を通じたスキンシップ・アタッチメントの効用

4、その解決対策に自然療法はどのように有効か

最近、米国ではADHDなど小児精神病に合成の向精神薬（塩酸メチルフェニデート系のリタタン、やアンフェタミン）、抗癲癇薬（カルパゼミンなど）を多用する傾向がある。これら薬物はもちろん重症例では、適応になるが、即効性があるが一定の副作用がある。

また、子供と母親との関係では上述のスキンシップが脳・深層心理（トラウマ）に大きな影響があることは精神分析的（フロイト派のボルビー・スピッツ等）にすでに定説。

このようにみると、子供の心身特徴をふまえ、家庭療法的に対応するにプライマリーケア的

には、まず芳香療法などの自然法がもっと重視されていていい。とくに家庭ケアとしては不可欠。強いていえば、自然療法が最も効果がある境域は小児病である。家庭で子供を守るために自然療法（問題意識）を身に付けるのは**母親の義務**である。

4、東洋思想と子供のケア・・・

一寸期の重要さ

《百尺の松も、一寸の時をよく養い得て千年の青き操をあらわし、よく育て得て百年の寿を保つ事を知るべきなり。

子育ての基本は、「三分の飢と寒」

《凡小児をそだつるに、初生より愛を過すべからず。愛すぐればかへりて児をそこなふ。《小児をそだつるは、三分の飢と寒とを存すべしと、古人いへり。いふ意は、小児はすこし、うやし(飢)、少ひやすべしとなり。小児にかぎらず、大人も亦かくの如くすべし。小児に、味よき食に、あかしめ(飽)、絹多くきせて、あた>め過すは、大にわざはひとなる。俗人と婦人は、理にくらくして、子を養ふ道をしらず、只、あくまでうまき物をくはせ、きぬあつくきせて、あた、め過すゆへ、必病多く、或命短し。貧家の子は、衣食ともしき故、無病にしていのち長し。

過食と加熱のいましめ

《小児は、脾胃もろくしてせばし。故に食にやぶられやすし。つねに病人をたもつごとくにすべし。小児は、陽さかんにして熱多し。つねに熱をおそれて、熱をもらすべし。あたため過せば筋骨よはし。天気よき時は、外に出して、風口にあたらしむべし。如レ此すれば、身堅固にして病なし。はだにきする服は、ふるき布を用ゆ。新しききぬ、新しきわたは、あたた、め過してあし>。用ゆべからず。

孤食のいましめ

《児子に食をあたうる時は、物かげ、人の見ぬ所など、または下々と一所にて、かりにも食せしむべからず。父母の前にて、食しならわすべし。いとけなき時より、物かげにて食しなれば、食にむかえば必ず喜び怒り等しがちのものなり。よくよく心得べきことなり。

排泄（観察）の重要性

《小児はただ大小便の事を常に心を付けて見るべし。大小便つねによく通じて、穢裸・尻あての類を取り換ゆる事しきりなるほどある小児は、病なしと心得べし。少しでも大小便滞る時は、病ありとするべし。

「横根・尻あての類を取り換ゆる事しきりなる事につとめよ」

衣服をあつくし、乳食にあかしむれば必病多し。衣をうすくし、食をすくなくすれば病

症状・病気ごとの対策

自然療法導入の心得

緊急かどうか、大したことはないと判断する根拠

「大したことはない」と判断する根拠。いま、それを整理してみると、つぎのようになりう。

(1)一般状態から

(1)意識が混濁していないこと

いくらグッタリたりしていても、意識がはっきりして周囲に対して意欲をみせるようならば、さほどあわてる必要はない、

(2)体温が低下していないこと

体温が正常であるか、あるいは発熱している場合は急を要しない。

(3)チアノーゼがなく、脈拍に緊張があること：脈拍数が多くても緊張が強いなら心配はない。

(4)呼吸が浅迫でないこと

呼吸がはやく、しかも浅い感じがするのは注意を要する。また、溜息をつくような呼吸も、かなりよわっていることを意味する。これに反し、呼吸がはやくても大きく息をしているのは重大ではない。

(5)症状の程度から

とくにはげしい頭痛、腹痛、胸痛をしきりに訴えたり、嘔吐がつづくのは警戒を要する。乳児ならば泣きやまないのは注意したほうがよい。しかし、そんなにはげしくないとか、ときどきおさまって元気よくなるようなら、大したことはないと考えられる。

このなかで対症療法は大きなウェイトを占める。対症療法をじょうずに使って患児をなるたけ楽にしてやりながら経過を観察する。

家庭対症療法は単に診断がつくまでの姑息的な手段ではない。じょうずに行なえば、患児の自然治癒力をたすけて、よい方向にむかわせることができる。とくに幼弱小児では家庭での食事や排泄、保温などが正しく行なわれるか否かは、ときに決定的な影響をもつ。

用具

オイル（ベーシックオイル）、精油、歯ブラシ、爪楊枝、カイロ

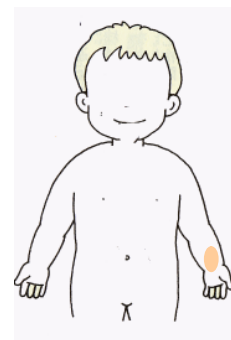
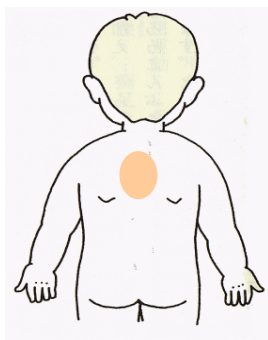
小児に特有の病気

1、自家中毒（周期性嘔吐症）

いままで元気な子が、急に嘔吐し、熱はないが元気をなくしグッタリする。習慣性がある。現代医学的には、原因は詳細不明。

整体・按摩療法

下図のような施術ゾーンを使う。虚弱児の全身健康法にも応用。

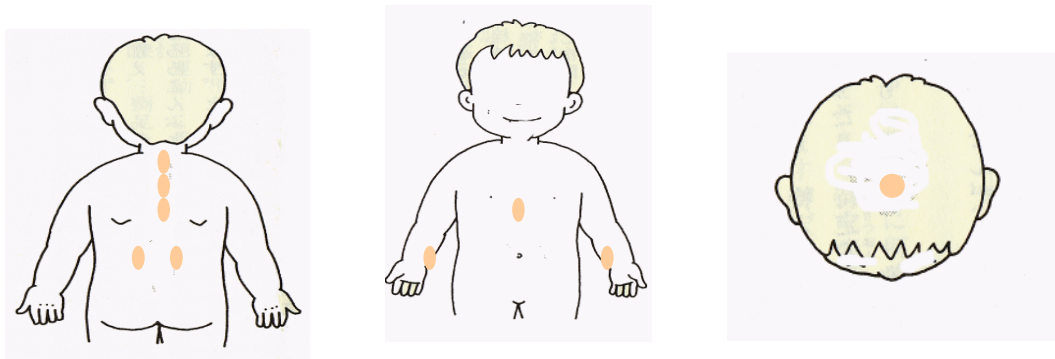


適性ハーブ・精油：リンデン、カミツレ、ペパーミント

癩の虫（夜啼き、チック症、不眠）

神経質で、青すじがたち、顔色は蒼白、目は異常な興奮状態を示していることが多い。

● 整体按摩療法適性精油・・・サイプレス、カミツレ



● 食物療法

カキ(牡蠣)の殻を煮詰めた液……カキは不安感をしずめ、緊張をほぐす働きがあり、かんの虫を抑える。カキの殻5g/2カップの水、半量になるまで煮詰め、一日三回、お腹がすいているときに飲ませる。漢方薬・・・桂枝加竜骨牡蛎湯

黒砂糖入りホット牛乳……夜寝る前に飲ませる。黒砂糖もミルクもカルシウムが多く、鎮静安眠作用に優れる。

匂いの強い野菜を枕元に置く……長ネギ、玉ネギ、ニンニク、ニラなどの芳香性催眠野菜を枕元に置いて寝る。これは中国の農村でよく用いられている鎮静安眠方法。

便秘

子供の便秘は、大人より全身に影響。便秘の多くは腸に熱があるケースがおおい。熱発の原因。したがって腸の熱をさますことが大切。

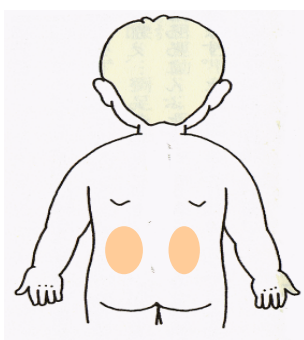
● 食物療法

はち蜜・・・健胃・潤腸作用があり、下痢便秘両用。

バナナ・・・清腸潤腸作用があり便秘を解消。

黒ゴマと生アーモンド・・・両方をすりつぶし、お湯を注いで飲む。共に整腸潤腸の作用がある。

● 按摩整体



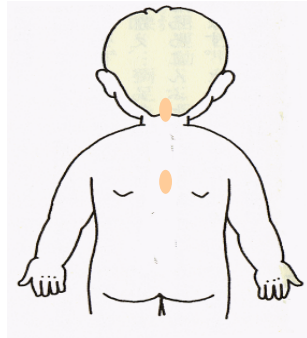
按腰……両手のひらをこすってよく温めておきます。その手を子どもの腰に当て、上下に摩擦します。

擦尾骨……尾てい骨を、薬指と中指の二本で熱くなるまで撫でる

自閉症

自分一人の世界に閉じこもり、まわりにまったく関心を示さず特定のもの（順序や位置）に強いこだわりを持っている。特殊な能力に秀でた子どももいますが、一般記憶力、ことばの遅れがある。先天的場合と、環境的・心因的な原因（母親との関係が重要）による場合。

● 按摩整体



頭頂部にある四神聰：健脳安神作用

巫門：言語発達、聾

身柱：集中力・記憶力増強

● 食物療法

ニワトリの骨髓のスープ……ニワトリの骨髓をたたきつぶして煮込み、スープにして飲む。脳の働きを活発に、自閉症の改善。

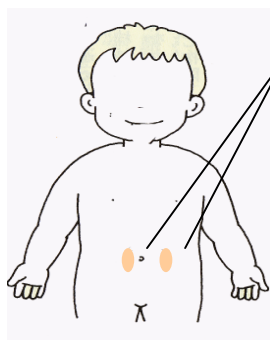
● ハーブ精油・・・セージ、タイム

小児の肥満・糖尿病

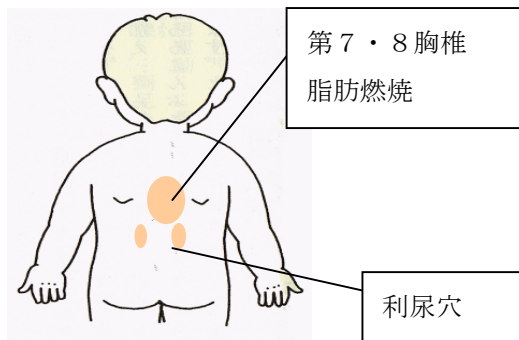
摂取カロリーの制限は一定に必要。問題は、食欲亢進と排泄をどう調節するか。

● 芳香整体（下図のゾーンを用いる）

適用精油（3歳以下原則無使用）濃度0.05%・・・バジル、ペパーミント、レモングラス
キャリアーオイル・・・ベーシックオイル

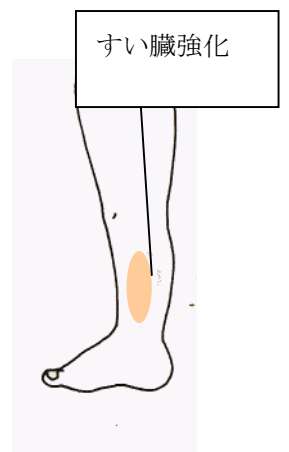


通便穴
止渴穴



第7・8胸椎
脂肪燃烧

利尿穴



ずい臓強化

● 食物療法

ハトムギ・スープ・・・炒りハトムギを三〇分ほど煮詰めたスープを水代わりに。ハトムギ茶代用。ハトムギには利尿作用があるのでむくみや肥満によい。

小豆スープ・・・小豆のサポニン成分は糖吸収をブロックして小腸からの栄養吸収を制限する。

利尿効果もある。

ヨモギ茶・・・重曹で灰汁抜きした乾燥葉1ツカミ（20～25g、水300mlを200ml煮詰）/1T

どうしてもお菓子がほしかったら小豆のヨモギ餅（ヨモギ餅は太りにくい）。

バジルのサラダ・・・気分を効用させ褐色脂肪細胞を燃焼させる傾向がある。肥満児のありがちな運動能力の低下にもよい。

セージ茶・・・循環器系の活性化、利尿。これも水ブトリで運動が不活発な子供によい。

ただし、朝のみ。夜はカミツレ。低体温症の子供にも最適。

西洋ノコギリソウ・・・

このほかタイム、ローズマリー、タラゴンなどもよいが、これらが、嫌いな子供は上記のハーブビネガー・バター《マーガリン不可》などを手作り徐々に慣れさせていく。

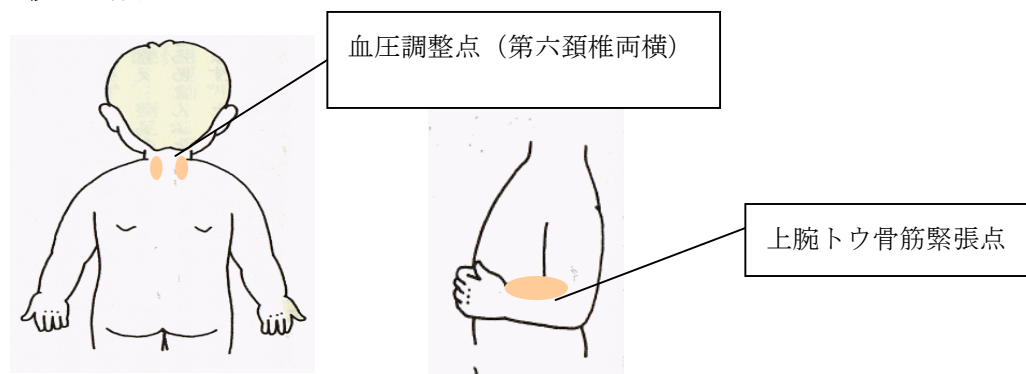
ブレンド茶のR P

ルイボス、紫蘇（ペパーミント代用）をベース（全量の1/3）に上記ハーブを加える。
矯味にココアの利用（カカオには脱脂肪、通便作用）。

小児高血圧

自律神経の乱れからくるが成人の様に降圧剤は不適。

●按摩整体療法



●食物療法

のりと野菜のスープ……キュウリ五-六本を皮ごと乱切りにしたもの、トマトの種を

とって輪切りにしたもの、たまねぎ一個とセロリー一本を細かくきざんだもの、これにのりを二枚加えて煮込み、スープにします。どれも血圧を下げる働きがありますが、とくにのりには「熱を下げて水毒を取り去る」作用があり、高血圧に効きます。

コンブと大豆の煮込み……コンブは水毒を除く、豆類（枝豆）はすい臓の負担を軽くする。

脳性麻痺

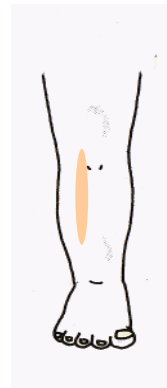
出産時、極小未熟児や仮死状態での出産、難産による低酸素障害や脳内出血、重症の黄疸、妊娠中毒症、薬物の影響などで新生児の脳に障害運動機能がマヒ。

首のすわりが遅い、手足の動きが鈍いなど、乳児のころから発育・発達の遅れが目立ち、

しだいに手足硬直、異常な緊張・弛緩、に運動の遅れだけでなく、精神面・知能面の遅れや、てんかん発作をともなうこともある。



四神聡

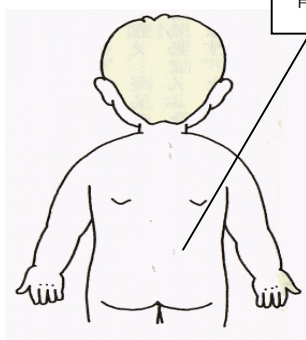


急性腎炎・ネフローゼ症候群

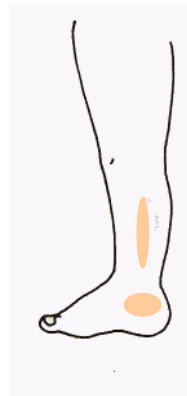
子どもの腎炎のほとんどは急性腎炎。血尿、タンパク尿、血圧が上がり、疲れやすい、熱が出る、頭痛、嘔吐などの症状。原因はと細菌（β溶連菌）によるアレルギー症。

一方ネフローゼ症候群は、腎臓にある糸球体の異常が原因。タンパク尿、むくみ、血中コレステロールの上昇などが一緒に現れる症状で、尿の量が極端に少なくなる。腎の病気は腰を温めることが大事。

●按摩整体



腎兪（腎熱穴）



適性ハーブ精油

●食物療法

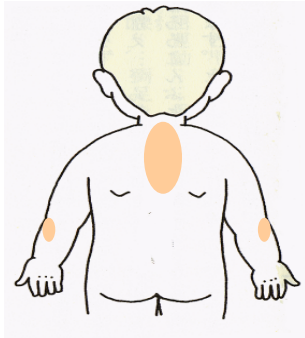
タマネギの煎じ汁……タマネギの実をむき、一握りほどを900ccの水で煮詰め、就寝前服用。
ヨモギ（血止・鎮痛・鎮静）5～10g 水/500cc

湿疹・蕁麻疹・アトピー皮膚炎

●按摩整体療法

適性ハーブ精油：3歳以下では精油の塗布は、不適。拡散器にて空気吸入。

ラベンダー、ペパーミント、カミツレ、ユーカリ塗布にはクレー、オイル単独。



食物療法

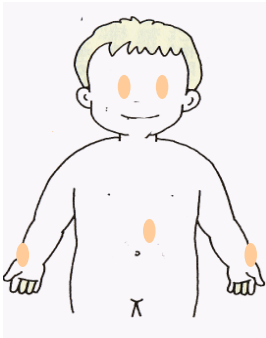
ドクダミ茶とドクダミ湯……ドクダミの葉と茎をとり、よく洗って陰干しし。水一・八リットルのなかに乾燥した葉と茎をひとつかみ入れ、お湯が半分の量になるまで煮詰めお茶がわりに飲む。

ニンジンのしぼり汁……ニンジンをすりおろし、しぼった汁をオチョコに一杯ずつ、一日三回飲みます。

目の病気

東洋医学では目は五臓と関係があり、近視、遠視、眼精疲労などは肝腎の津液の減少からおきる。小児においても、目の機能は未発達で、老人と同様の症状をおこす。

●按摩整体



●食事療法

ゴマ：ゴマには五臓を補い、視力を正常に保つ働きがある。

耳の病気

難聴には、伝音性難聴（外耳や中耳など、音を伝える器官に障害があるもの）と感音性難聴（内耳や聴覚神経障害）の二つがある。感音性難聴は難治。

子どもにとって音が聞こえないということは話せないということにつながり、知能の発達にも重大な影響をおよぼす。

● 整体按摩

